

にけーしよん

2/12 愛南町と共に歩む!

御荘文化センターで、愛南町合併5周年を記念した新春経済講演会(町商工会主催)が開催され、本町に工場を置いている(株)レクザム取締役副社長・生産本部長の住田博幸さんが、「愛南町と共に歩む新生レクザムー地域活性化と日本のものづくり」と題して、町内の経済関係者約200名を前に講演しました。

(株)レクザムは、平成20年4月30日に旧松下寿一本松工場の跡地に進出した隆祥産業(株)が平成22年1月1日に社名変更してスタートした会社で、電子機器や自動車部品、バイオ技術、さらにビールやスキーブーツなど、多岐にわたる分野で企業活動を展開されています。住田さんは、工場がある中国の経済状況や日本のものづくりの現状、愛南工場の展望などユーモアを交えながら講演されました。



2/12 笑いのチカラで健康に!

御荘文化センターで、(財)新居浜病院副院長の枝廣篤昌さんを招いた心の健康講座「笑いのチカラ」が開催されました。枝廣さんは日本笑い学会四国支部代表で「芸乃虎や志(げいのこやし)」の高座名を持ち、精神科医とアマチュア落語家という二足のわらじを履いて、地域の精神保健福祉の充実と落語の振興をめざして活躍されています。人を惹きつける誘引作用、仲良くなる親和作用、万病に効く浄化作用、心のゆとりを生み出す解放作用と、「笑い」が持つ4つの作用について、落語を交えた楽しい話術で講演されました。



2/18 東海小防災マップ!連続入賞!

東海小学校5・6年生で岩水地区の「岩水防災キッズ」が作成した防災マップが「第6回小学生のぼうさい探検マップコンクール」で審査員特別賞を受賞し、2年連続の入賞を果たしました。



審査員特別賞：岩水防災キッズ



佳作 満倉 55(GO FIVE)

リーダーの岡山大助くん(6年生)は、「2年連続の受賞でとても嬉しいです。今年は地震や津波だけでなく、火災のことや町長さんをお願いして直してもらった橋のことを入れるなどマップ作りを工夫しました。」と嬉しそうに語ってくれました。また満倉地区の「満倉55(GO - FIVE)」の防災マップも佳作を受賞し、同小学校体育館で表彰状の伝達が行われました。

子ども達にとっては、マップ作りを通して自らの防災意識を高めることはもちろん、身近な地域のことを知る良い機会になったようです。

愛南こみゆ

1/17 元気よくお接待!



40番札所観自在寺から39番札所延光寺まで約28kmを歩く宿毛市教育委員会主催の「宿毛花へんろウォーク」に、満倉小学校の子ども達が「お接待」で参加しました。上大道休憩所で、「お茶はいかがですか?」、「アメをどうぞ!」などと、道行く参加者に元気よく「お接待」をしました。

1/23 全国短歌大会ジュニアの部で大会大賞!

海外を含め15,364首が寄せられたNHK全国短歌大会ジュニアの部で、西浦小学校4年吉田彩乃さんの作品「父さんと いっしょに調べた 夏の空 父さんのおい あせのにおい」が、小学生3名、中学生3名にしか与えられない「大会大賞」を受賞しました。

夏休みの宿題でしょうか。大好きなお父さんと一緒に調べた楽しそうな情景が目には浮かびます。おめでとうございます。



父さんといっしょに調べた夏の空
父さんのおい あせのにおい
愛媛県愛南町立西浦小学校 四年 吉田彩乃



2/3 鬼が来た!

一本松地区で恒例の「節分行事」(一本松分館主催)が行われ、立春とはいえ底冷えのする夜に、赤鬼・青鬼に扮した青年たちが太鼓を鳴らしながら「悪い子

はいるか～」と地区内11軒の家々を回りました。どの家でも怖い鬼の姿に小さな子どもたちは泣きながらお父さんやお母さんに抱きついていました。同分館では「この行事を通じて家族の絆を確かめ合ってほしい」、そんな思いで続けているそうです。今後も、温かい家庭づくりの鬼サポーター、ぜひ続けてほしいと思います。

2/4 美味しく健康づくりを!

御荘文化センターで、「食」を通じた健康づくりの啓発を目的に町食生活改善推進協議会(尾崎イトミ会長)による「あいなん食改味まつり」が開催され、約100名がバラの花寿司や鯛めしなど特産品を使った郷土料理や、乳製品を使った料理、うす味料理など色とりどりの料理を楽しく味わいました。

